



『未来への架け橋』

() 小学校 (5) 年 () 組
名前

学習ガイド (小学校5年生 国語)

《学習の内容》

*毎日こつこつチャレンジ

288 ページから「小学校で習う漢字」があります。これまで学習した漢字を復習してみましょう。1日、何文字書くか、計画を立てて進めよう。

1日目 声に出して読んでみよう

- (1) 教科書の表紙の裏(巻頭)の「ぼくらのもの」を同じ言葉の繰り返しや違う言葉に気をつけて10回以上音読してみよう。
- (2) 教科書2～5ページの「目次」を読んで、一年間の見通しをもとう。どのような学習内容なのか、予想してみよう。
- (3) 教科書6～9ページの「国語の学習の進め方」を読んで、1年間で学習する『★言葉の力』を確かめ、1年間の見通しを持とう。

2日目 新しい漢字の練習をしよう

- (1) 教科書280ページの「術」から「眼」を4年生まで使っていた漢字のノートに3～5回ずつ書いてみよう。

3日目 事実と考えを区別しよう

- (1) 教科書12・13ページを読んで、事実と考えの持ちようを見つけて、書き出してみよう。
- (2) 自分の考えをまとめるときには、どのようなことに気をつけるとよいのか、30字以上50字以内でノートに書いてみよう。

4日目 漢字の復習をしよう

- (1) 教科書15ページの「4年生で習った漢字」をノートや教科書に書きましょう。
- (2) 302ページに解答があるので、確認して間ちがえたところは5回以上やり直しをしよう。

5日目 人物の思いを音読で伝えよう①

- (1) 23～25ページを読んで、「言葉の力」の一つである「聞き手に伝わるように音読するのに、大切なこと」をノートに書いてまとめよう

- (2) 自分で書いてまとめたことに気を付けながら、「だいじょうぶ だいじょうぶ」を3回読んでみましょう。

6日目 人物の思いを音読で伝えよう②

- (1) 「ぼく」が過去のことを思い出して語っているところと、現在のことを語っているところがあります。それぞれ、どこから、どこまでかを考えてノートに書きましょう。また、過去のことが語られていることと、現在のことが語られていることが分かる表現を見つけて、ノートに書きましょう。

7日目 人物の思いを音読で伝えよう③

- (1) 「だいじょうぶ だいじょうぶ。」という言葉は、だれが、だれに対して言った言葉でしょうか。また、どのようなことに対して言った言葉でしょうか。国語のノートに書きましょう。

8日目 新しい漢字の練習をしよう

- (1) 教科書280ページの「容」から「構」を4年生まで使っていた漢字のノートに3～5回ずつ書いてみよう。

9日目 新しい漢字の練習をしよう

- (1) 教科書281ページの「示」から「雑」をノートに3～5回ずつ書いてみよう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

- (1) 音読等はできる範囲で聞いていただき、励ましてあげてください。
- (2) 教科書12・13ページについては、事実に基づいた考えがより説得力が高いため、事実を集めて、それに基づいた考えをまとめること等、声かけしてあげてください。
- (3) 漢字の学習では、子どもたちの日常会話ではあまり使い慣れていない熟語も掲載されています。家庭に国語辞典があれば調べるように促すことも有効です。また、国語辞典が手元にない場合は、意味を一緒に考えたり教えてあげたりしてください。言葉の意味を知ることによって、理解が深まり定着につながります。

学習ガイド（小学校5年生 算数）

★はじめに★

表紙をめくって、もくじを読んでみましょう。

2・3ページ「教科書の使い方」を読みましょう。

4・5ページ「学習の進め方」を読みましょう。

学級のみinnで、学習をスタートさせることができるように、これまでの算数の学習の進め方を確かめておこう。

- (1) 表紙の絵をみて、気づいた事をノートに書きましょう。また、一番大きい歯車が3回転する間に、他の2つの歯車は何回転するか考えてみましょう。
- (2) 10～15ページをみて、乗り物の大きさや建物の高さなど、小数で表されている物を調べましょう。(例:ジェット機の全長56.72m 列車の全長108.

9 mなど)

- (3) 17ページにある 1 cm^3 が100個くらい入りそうな物を見つけましょう。また、家の中にある物に 1 cm^3 をきっちりつめたとして、いくつくらい入りそうか予想してみましょう。
- (4) 身の回りにある直方体や立方体を探して、辺の長さを測りましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

5年生は自分で計画を立てて学習を進めたり、予習をしたりするなど自ら学ぶ態度を育てましょう。がんばりを認め褒めて、学ぶ意欲を高めるようにして下さい。

ガイドのポイント

- (1) 算数科の学習に期待や興味を持たせるのがねらいです。登場人物が何を話しているのか、何をしているのか等、表紙を見ながら親子で一緒に想像をしながら話をして下さい。ご兄弟がいる場合は他の学年の表紙と比べてみるのも良いです。
- (2) 小数で表されている物を調べさせて下さい。長さ(距離)、重さなど単位については不問です。図鑑やインターネットなどを使ってなるべくたくさん調べさせて下さい。
- (3) 体積は 1 cm^3 のいくつ分で表されます。 1 cm^3 がどれくらいの大きさかイメージできるように似ている物があれば(サイコロなど)見せてあげてください。また、牛乳パックにはいくつくらい入る?とか冷蔵庫にはいくつくらい入ると思う?など家の中にあるものの体積を自由に予想させてください。
- (4) 授業で公式を学習したら、体積を計算で求められるようになります。お菓子の箱や本棚など、家の中にある物の辺の長さを定規やメジャーなどで測らせてください。

※ 子ども達は経験したことのない状況でストレスを抱えています。間違えたり、できなかったりしても、叱ることなく、温かい雰囲気の中で学習に取り組ませて頂きますよう、よろしくお願いします。また、できたときには、しっかりとほめてあげてください。今後の自信につながります。

※ 算数の教科書にはQRコードが印刷されています。スマホ等で利用可能ですので、ご活用下さい。

学習ガイド (小学校5年生 理科)

★はじめに★

表紙には、どのようなイラストや写真がありますか?

表紙をめくってみよう。この写真や言葉から、どんなことにきづくかな?

2・3ページ「目次」「理科の学び方」「話し合いのしかた」を読みましょう。

4・5ページ「教科書の使い方」を読みましょう。

学級のみんなで、学習をスタートさせることができるように、これまでの理科の学び方を確かめておこう。

(1) 教科書6~10ページを読んで、天気と雲のようすはどのような関係があるのか

知るために、雲のようすの観察に取り組みます。

- ① 1日の中で、午前と午後の2回、同じ場所で天気や雲のようす（量や形、動き）を調べて、教科書10ページを参考にノートに記録しましょう。
 - ② 午後の記録には、午前とくらべて変わったことや気づいたことを書きましょう。
 - ③ 同じように4, 5日間観察します。
 - ④ 観察記録を読み返して、天気と雲のようすの関係について自分なりに考えたことをノートにまとめましょう。
- 教科書11ページを見て、いろいろな雲を探してみましょう。

(2) 教科書12~16ページを読んで、天気はどのように変わっていくのか調べましょう。

- ① 教科書13ページを読んで、連続した3~4日分の気象情報をインターネットやテレビ、新聞などから集めましょう。(ノートに日付順に整理しておきましょう。)
 - ② 集めた情報から、雲のようすや天気の変化について調べましょう。
教科書14, 15ページの資料をもとに調べてもかまいません。
 - ③ 天気の変わり方について、自分なりに考えたことをノートにまとめましょう。
- 教科書16ページを読んで、明日の天気を予想してみましょう。
- 教科書17~21ページを読んで、天気と生活の関わりなどについて、興味がわいたらもっと調べてみましょう。

学習ガイド (小学校5年生 社会科)

★はじめに★

教科書の表紙をめくって、もくじを読んでみましょう。

2・3ページ「4年生で学んだこと」4・5ページ「5年生で学ぶこと」を読み、その中から、写真を選んで5年生で学びたいことをノートに書いてみましょう。

(1) 「わたしたちの国土」(教科書5年①P8~P11)をもとに、地図を見て我が国の国土や世界の様子について、次のことを調べてみよう。

- ① 教科書P8~P9を読み、世界の主な大陸や海、日本との位置関係について調べ、これまで使っていた社会科ノートにまとめてみましょう。
- ② 教科書P10~P11の「やってみよう」にちょうせんしましょう。
- ③ 地図帳を活用して、この他の世界の主な国々と国旗について調べ、これまで使っていた社会ノートにまとめてみましょう。

(2) 4年生の学習を思い出し、地図帳を活用し、都道府県の名前を覚えよう。

- ① 47都道府県の場所と名前を全部覚えてみましょう。
- ② 都道府県庁所在地を覚えることにも、ぜひちょうせんしましょう。

(3) 4年生の学習を思い出し、福岡県の特ちょうをまとめてみよう。

- ① 地図帳や「よいこの社会科」を読み直し、福岡県の様子を地図にして、これまで使っていた社会科ノートにまとめてみよう。土地の様子や主な町、交通の様子や産業が分かる素敵な地図を作りましょう。
- ② 作った地図の下に、福岡県の特ちょうを150字以内の文章でまとめてみましょう。

《保護者による関わり方のポイント》

- (1) 「わたしたちの国土」の学習では、知っている国名を出し合い、知っている理由を考えるなど、世界の国々に興味関心をもって触れることができるように声かけをしてあげてください。
- (2) 新聞などを活用し、記事で紹介された国を地図帳から探したり、記事を切り抜いて、その国について調べたことをまとめたりするなどの学習も考えられます。
- (3) 4年生の復習では、一緒に地図帳を広げ、覚えることができている所を大いに称賛し、意欲を高めてあげてください。
- (4) 福岡県の様子をまとめる学習では、教科書や地図帳はもちろん、ご家庭にある県の様子分かる書籍等の資料も活用し、お子さんが創意工夫して作成することができるよう、声かけやアドバイスをお願いします。
- (5) 150字以内で福岡県の様子をまとめる学習では、家族に説明する場面、初めて福岡を訪れた方に説明する場面など、シチュエーションを工夫し、より特ちょうが分かりやすく伝わるものとなっているかお子さんが考えるように促してください。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

- 5年生の理科学習では、自然の事物・現象から見いだした問題について、予想や仮説をもとに、解決の方法を発送する問題解決力を育むことをねらいとしています。
- (1) 雲の量や形、雲の量に注目して観察できるように促し、観察する日によって違いがあることに気付けるように関わってあげてください。
 - (2) 観察時に、太陽を直視することのないように注意をお願いします。
 - (3) 雲のようすは、タブレット端末やデジタルカメラなどで記録する方法も考えられます。気象情報を集めるためにインターネットを利用するときは、お子さんと一緒に機器を使うなど、正しい使い方を教えていただくようお願いします。

学習ガイド（小学校5年生 外国語）

★はじめに★

表紙をめくって、さまざまな写真を見てみましょう。

この一年の外国語学習でどんなことを学ぶのかな？想像してみよう。

- (1) 教科書【NEW HORIZON Elementary】(P4・P5)を見ながら、英語の学び方(教科書の使い方)の見通しをもちましょう。
 - 学習の流れ【8つのUnitと3つのCheck Your Stepsまで】をつかみましょう。
 - ピクチャーディクショナリー【Picture Dictionary】の使い方を知ましょう。
 - 教科書で使われている記号の意味を知りましょう。
- (2) 教科書【NEW HORIZON Elementary】にあるQRコードを、スマホやタブレットで読み取り、英語を聞いてみましょう。

- 教科書に合わせて音声のみを聞くものと動画を見るものがあるので、どちらかを選んで使いましょう。
 - パソコンを使う方法もあります。 <http:tsho.jp/02p/e5/dl/> からアクセスできます。
- (3) ピクチャーディクショナリー【Picture Dictionary】のQRコードを、スマホやタブレットで読み取り、英語を聞いてみよう。
- 学習する単語【Words】を聞いてみましょう。
 - パソコンを使う方法もあります。 <http:tsho.jp/02p/e-pd/dl/> からアクセスできます。
- (4) アルファベットを書いてみましょう。
- 教科書【NEW HORIZON Elementary】(P86～P89)を使って、アルファベットの大文字と小文字を書く練習をしましょう。
 - P86とP88のQRコードを読み取ると、書き方の動画を見ることができます。
 - パソコンを使う方法もあります。 <http:tsho.jp/02p/e5/abc/> からアクセスできます。
 - ピクチャーディクショナリー【Picture Dictionary】の表紙のQRコードを読み取ると、アルファベットクレイアニメを見ることができます。
 - 英語ノートをダウンロードし印刷できるならば、繰り返し練習しましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

- (1) 英語の単語や文章を読んだり、音声聞いて発音の学習をしたりしていませんので、予習として、学習に興味関心や見通しをもたせながら、教科書を見せてください。スマホやタブレットから、QRコードが読み取れますので、可能であれば、一緒にご覧ください。パソコンでもアドレスを入力すれば、同じサイトにアクセスすることができます。
- (2) 4年生までの外国語活動の学習を生かして、アルファベットの書き方に取り組んでほしいと思います。4線の使い方や字形が正しいか、見てあげてください。
- (3) パソコン等が使えない時は、教科書を見たり、文字をなぞって書いたりする学習を進めてください。